

平成 16年度における財政運営の主な見直しと工夫

- 1 歳入の確保
 - 県税の滞納整理促進
 - ・徴税職員の増員、休日出勤体制の導入、滞納多額者への重点化など
 - 中小企業高度化資金の滞納整理促進
 - ・専門回収班の設置
 - 遊休資産の処分促進
 - 県有施設整備基金の活用
 - ・県立大学・金沢北部総合養護学校の建設費に充当

- 2 職員費の抑制
 - 職員数の削減 70人程度（15年度に続き前倒し）
 - 特別職の報酬カット延長

- 3 公共投資の効率化・重点化
 - 投資的経費の総額抑制
 - ・伸率 9.8%（小松連立除き 8.2%）＜地財 8.4%＞
 - コスト縮減による効率的・効果的な社会資本整備の促進（石川ルールの確立）
 - ・地域の交通事情に応じた道路整備の促進
 - 1.5車線の道路整備の全面展開
 - 現道活用型道路改良の推進
 - 効率的な歩行者空間の整備（歩道幅員の縮小、蓋付き側溝など）
 - ・道路構造物最適管理計画の策定
 - 計画的な補修工事の施工による長寿命化
 - ・地域特性に応じた生活排水処理施設の整備促進
 - 整備手法の選択による未整備地区の早期解消
 - 生活密着型公共施設への重点投資
 - ・福祉施設・学校整備の促進

- 4 事務事業の見直し・執行の工夫
 - ＜見直し 309件（274件）、サンセット時期の設定 129件（125件）＞
 - 事業の見直し
 - ・イベントの開催延期・規模縮小
 - いしかわ情報展の延期、農林漁業まつり・環境フェアの規模縮小など
 - ・自治振興資金の新規貸付枠の抑制（市町村合併の進展）
 - ・職員の海外派遣研修の短期・重点化
 - ・総合看護専門学校看護学科（泉本町校舎）の本校統合
 - 事務の効率化と経費の節減
 - ・ITを活用した事務の効率化・経費の節減
 - IMSを活用した県機関の完全ブロードバンド化（高速回線の一括契約）
 - 県立大学と看護大学の電算システム共有化
 - 災害・救急医療情報システムのインターネット化（専用線の廃止）
 - 職員用1人1台パソコンの更新見送り
 - ・契約方法等の見直しによる経費の節減
 - 契約電力の見直し（契約電力の縮小、最適メニューの選択）
 - 情報系システムの保守契約の見直し（人的管理の縮小）
 - ・省エネ設備の導入による経費の節減
 - 交通信号灯器のLED化（電気料の低減、長寿命化）

- 5 特別会計等の経営改善対策
 - ・公営競馬特別会計 - 開催規模の縮小・経費の大幅削減（開催数 18回 15回）
 - ・水道用水供給事業会計 - 高利県債の借換による金利負担の軽減
 - ・林業公社 - 高利借入金の借換による金利負担の軽減
 - ・住宅供給公社 - 宅地分譲の導入による販売促進
 - ・県民ふれあい公社 - のとじま水族館の集客促進に向けた調査・検討